

「久賀島の文化的景観」を活かした暮らせる島づくり推進事業

概要

久賀島は平成23年度に島全域の景観が重要文化的景観に選定された。この価値を守るためには、**島民が島でこれまでの暮らしを続けていく**必要があるが、深刻な過疎化が進む久賀島では、「島民が暮らし続ける」ことが困難な状況である。そこで、島の文化的景観を創り出す様々な要素を活かし、島民が島で暮らし続けることができる仕組みを構築する事業である。

事業の内容

事業の内容

- A. 島外の若者(大学生)の視点から、島の地域資源を抽出し、その活用方法を検討するイベントの実施。
- B. 観光とボランティアを組み合わせた「ボランティアツーリズム」の実現性を検証するモニターツアーの実施。
- C. 地域資源発掘イベントの成果等から、久賀島で取り組んでいきたい事業を検討し、その先進地を視察。これに合わせ、島民の地域づくりに対する意識の醸成を目的とし、各地で地域づくりに取り組む方々と島民が交流を図る機会を創出。
- D. 地域資源を活かした島の特産品の開発、商品化と島民主体の事業運営組織の設立。

総事業費

1. 1百万円

ポイント

文化的景観の保全→島民のこれまでの暮らしの持続→現在の生業を活かした新たな収入を得る方法の検討 **「文化的景観保全の切り口からの地域振興の実現」**

事業の成果

- ・体験型観光の受入がある程度整い、ボランティアツーリズムの実施も可能となった。
- ・各事業の運営母体となる住民組織「久賀島ファーム」の設立。
- ・特産品の商品化(椿油、棚田米)。



商品化した椿油と棚田米



HISAKAJIMA
FARM

久賀島ファームのロゴ

長崎県五島市



事業A



事業B



事業C



事業D